

2020年2月26日

パートナーの皆様へ

シンガポール政府観光局よりご挨拶申し上げます。新型コロナウイルス肺炎（COVID-19）が、世界とシンガポールの両方でエスカレートしている感染の状況に合わせて、シンガポールではウイルスの拡散を封じ込めるための強い対策を講じて参りました。これらの対策の詳細についてはこちらのサイトをご覧ください。 (<https://www.moh.gov.sg/covid-19>)

本日、私は対策が順調に進歩していることを共有でき嬉しく思います。2月26日現在、シンガポールでは合計91件の確定症例があり、そのうち58件は回復、退院しました。シンガポール保健省は、全ての症例について感染者との接触の可能性を綿密に追跡し、病気の拡散を封じ込めるための大きな努力を行って参りました。これらの努力の中には、シンガポール人が通常通り生活し続けられるようにすることが含まれています。実際に、世界保健機関（WHO）の局長テドロス・アダノム氏は2月18日に次のように述べています。「シンガポールでは、全てのインフルエンザ型疾患及び肺炎の検査を行っています。現在までに地域感染の事例はありません」

その結果、シンガポールへの旅行に対するWHOの勧告はなく、米国国務省の勧告レベルは1のままです。勧告レベルは、「旅行者に通常の予防措置を講じるよう勧告する」という最低限のものです。

ホテル、観光アトラクション、飲食業、イベント主催者を含むシンガポールのMICE産業は、通常通りのビジネスを行なっております。現在、私たちすべてが困難な時を強いられておりますが、シンガポールの業界を挙げて、これから実施が予定されているたくさんのイベントの安全でスムーズな運営を目指し、一生懸命取り組んでいることに私も元気づけられています。

また、海外からの旅行者を歓迎する大規模なイベントをいくつか開催しました。最近の例では、Experian VISION 2020 アジア太平洋、アル・アマル（エジプト）インセンティブ 2020 やシンガポール・エアショー2020 などがありました。これらのパートナーの多くは、シンガポールがイベントを成功させるための継続的な能力に自信を示しました。また、国際インプラント・チーム（ITI）世界シンポジウム 2020、HR テック・フェスティバル・アジア 2020、エイジング・アジア 2020 など多くのイベントは、今後数か月のうちに予定通り開催されます。

これは、国際MICE関連団体の発言とも一致しております。国際見本市連盟 UFI やインディペンデントショーオーガナイザーズ協会 SISO は、世界の大部分は展示会を中止するには時期尚早であると述べています。国際会議協会 ICCA も業界に対しイベントの実施を維持することで私たちの強靭さを実証することを呼びかけています。

シンガポール通商産業省（MTI）はビジネスを通常通り行うことをアドバイスしており、私達もシンガポール保健省（MOH）の勧告（<https://www.moh.gov.sg/covid-19/advisories-for-various-sectors>）に則り、必要な予防措置を行った上でイベントを実施することを奨励しています。

シンガポール政府観光局は、皆様のご懸念やご質問に対して皆様と手を携えて取り組んで参る所存です。シンガポールの業界パートナーには、適切な施策や問題解決に向けた話し合いの場を継続して参ります。また、海外の業界パートナーの皆様には、ビジネスイベント開催地としてシンガポールをご選択いただく為のご支援を準備してお待ちしております。

ご不明な点がある場合は、お気軽にシンガポール政府観光局日本支局（[STB\\_InfoJapan@stb.gov.sg](mailto:STB_InfoJapan@stb.gov.sg)）やシンガポールの業界パートナーまでご連絡ください。

皆様方とのパートナーシップを大切にし、皆様方からの継続的なご支援に感謝を致しております。

どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。

シンガポール政府観光局

長官 キース・タン